

名鉄バス株式会社

代表取締役社長

小池 潤 様



県営名古屋空港への 公共交通アクセスの 強化・拡充に関する要望



三菱重工業株式会社提供

平成 29 年 1 月



県営名古屋空港への 公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望

平素は、県営名古屋空港のアクセス並びに利用促進等に関し、格別のご理解とご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご高承の通り、県営名古屋空港は、通勤航空や小型航空機等を扱う都市型総合空港として、現在（平成29年1月1日）、国内9都市へ1日あたり24往復の定期便が運航されており、今年度の利用者数は、昨年度の約74万人を大きく上回ることが見込まれ、就航先との産業経済の発展や交流の拡大に貢献しております。

一方、県営名古屋空港及び周辺地域では、MRJの最終組立工場や塗装工場が建設され、今後、MRJの量産化も始まり、関連・協力会社を含めた規模は数千名になると伺っております。

また、愛知県が、航空機産業の情報発信、産業観光の拠点づくり、次世代を担う人材育成等を目的として、県営名古屋空港内に、「あいち航空ミュージアム」の整備を進めており、本年11月30日にはオープンする予定であります。この施設は、航空関連の国内有数の見学施設として注目を集め、オープン初年度は65万人の来館が見込まれております。

現在、県営名古屋空港への公共交通アクセスとして、貴社とあおい交通(株)によって、西春駅や名古屋駅、勝川駅からそれぞれバスを運行頂いているところですが、今後、航空旅客のほか、航空機産業の拠点化に伴うビジネス利用、観光を目的とした来港者等が大きく増加することが予想され、アクセスの強化・拡充が喫緊の課題となっております。

つきましては、今後の公共交通需要を見据え、下記事項に関し、特段のご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

1. 名古屋駅や栄を始めとする名古屋都心部からのアクセス強化・拡充策を講じて頂きたい。
2. 西春駅からのバス増便、新規路線展開（名鉄小牧線との接続など）などによるアクセス強化を図られたい。

平成29年1月24日

県営名古屋空港協議会 会長 山本 亜





空港ロゴマーク

開港3周年を機に、県営名古屋空港の一層のイメージアップを図り、利用促進につなげるため、作成したロゴマークです。

名古屋の頭文字”N”をモチーフに、「滑走路」を表す濃いブルーに、空に向かって飛び立つ「飛行機の軌跡」を表す淡いブルーを組み合わせ、日本各地や世界につながる空港を表しています。



空港マスコットキャラクター「なごびょん」

「なごびょん」は2010年2月17日の開港5周年を記念して、一般公募により選ばれ、誕生しました。

「なごびょん」は、人工物の飛行機と自然物の鳥が合体した不思議なキャラクターです。鳥のような飛行機の「なごびょん」は心もちます。その心を育てるのは、県営名古屋空港や地元の皆さんです。

今後「なごびょん」は、県営名古屋空港の利用促進のため、いろいろなところに飛んでいって、積極的なPR活動を行っていきます。